

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科			
科目名称	グローバル文化交流						授業形態	演習		
科目コード	590143	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	横堀 仁志							ICT活用	○	
授業概要	米国の国際交流機関であるFIUTS（Foundation for International Understanding Through Students）の オンラインプログラム"Virtual Language Exchange"を利用した異文化交流プログラムである。									
関連する科目	1年次前期に「異文化理解」を、1年次後期に本科目と並行して「Global Studies II」を、本科目履修後、2年次前期に「異文化コミュニケーション論」をそれぞれ履修することが望ましい。									
授業の方法と進め方	①FIUTSに紹介されたパートナー（日本語を学びたい外国人学生）とペアを組み（1人対複数の場合もある）、お互いの文化について紹介し合う。本学学生（以下「学生」）は英語でパートナーとコミュニケーションを図り、パートナーは日本語で学生とコミュニケーションを図る。 ②学生は事前課題として授業の前にパートナーに話したいことや質問したいことを10個、英語で書いてくる。授業後、指導者は学生の書いた英文の文法や表現を修正・朱入れし、学生にフィードバックする。 ③学期末に学生はオンライン交流を通じて学んだパートナーの文化について1項目を選び、英語で発表スライドにまとめ、英語でプレゼンテーションを行う。									
第1回	第1回：オリエンテーション 授業の進め方等について説明する（本学学生のみ）。									
第2回	第2回：オンラインでパートナーとの初顔合わせ お互いにSelf-introductionする。									
第3回	第3回：Icebreaking Activities Icebreakingのためのゲーム等を行う。									
第4回	第4回：トピック①：自分の大学生活について お互いの大学生活について紹介しあったり、質問しあったりする。									
第5回	第5回：トピック②：自分の趣味について お互いの趣味について紹介しあったり、質問しあったりする。									
第6回	第6回：文化トピック①：食文化について お互いの食文化について紹介しあったり、質問しあったりする。									
第7回	第7回：文化トピック②：若者のファッションについて お互いの国の若者のファッションについて、自分のファッションについても交えながら紹介しあったり、質問しあったりする。									
第8回	第8回：文化トピック②：よく使われるジェスチャーについて お互いの国や社会で使われているジェスチャーについて紹介しあったり、質問しあったりする。同じ、または似たジェスチャーであっても意味が全く違ったりすることがしばしばあるので、そのような点にも着目してディスカッションする。									
第9回	第9回：文化トピック③：年中行事や祝日について お互いの国や社会の年中行事や祝日について紹介しあったり、質問しあったりする。年中行事や祝日はその国の習慣や宗教等とも密接に関連していることが多いので、そのような点にも着目しながらディスカッションする。									
第10回	第10回：文化トピック⑤：典型的なクリスマスの祝い方について クリスマスは元々キリスト教圏の国々で祝われるものであるが、日本でも大きなイベントとなっている。しかし、日本でのクリスマスの祝い方は他国と大きく異なっている。パートナーとのディスカッションを通じてその違いを発見する。									
第11回	第11回：プレゼンテーションの準備① 第10回の授業までに学んだパートナーの文化から1つの項目を選び、スライドを作成する。スライドはパートナーにアドバイスをもらいながら作成する。									
第12回	第12回：プレゼンテーションの準備② スライドを完成させるとともに、英語の発音練習を含めた発表の練習を開始する。練習中は積極的にパートナーからアドバイスをもらう。									
第13回	第13回：プレゼンテーションの準備③ 各学生はプレゼンテーションの最初から最後まで通しの練習をする。練習中は積極的にパートナーからアドバイスをもらう。									

第14回	第14回：プレゼンテーションのリハーサル パートナーとのペア、またはグループごとにリハーサルを行う。
第15回	第15回：最終プレゼンテーション（学習成果発表会） オンラインで成績評価の対象となるプレゼンテーションを行う。
授業の達成目標	①英語で日本文化の基礎的な事項について紹介したり、質問に答えたりできるようになる。【知識・理解】 ②英語によるプレゼンテーションの基本的なスキルを身につける。【汎用的技能】 ③英語のリスニング及びスピーキングスキルを向上させる。英検2級合格レベルのスキルを身につける。【汎用的技能】
学修成果との関連	4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	与えられた文化トピックに関し、日本文化の説明やパートナーと話したいこと、パートナーに質問したいことを10個、英文で書き、用意する（事前課題）。 （毎週1時間程度の学修を想定）
授業時間外学【復習】	パートナーに質問されたことで十分に答えられなかったことについて調べ、英語でどう説明するかを検討する。 （毎週1時間程度の学修を想定）
課題に対するフィードバック	提出された事前課題の英文の文法や表現に修正・朱入れをし、返却する。
評価方法・基準	予習課題（30%） プレゼンテーションのパフォーマンス（70%）
テキスト	なし
参考書	なし
備考	